

令和3年度 学校自己評価システムシート

(埼玉県立熊谷女子高等学校)

目指す学校像	1 自主自律の精神と豊かな人格を有し、次世代の社会をリードする心身ともに健康な生徒を育成する。 2 地域に信頼される伝統ある進学校として、生徒の第一志望の進路を実現させる。
--------	---

重点目標	1 豊かな人間性と社会性を育む教育を展開し、高い志を持った次世代の社会を担う女性を育成する。 2 S S H事業を継承する「世界をリードする科学技術人材育成事業」などの取組を活かすとともに、「教育課程研究事業」の継続・推進による質の高い授業を行い学力を向上させる。 3 きめ細かな進路指導や学習指導に取り組み、生徒一人一人の第一志望の進路を実現させる。 4 伝統ある本校の生徒としてふさわしい生活習慣を身に付けた、自らを律し行動できる生徒を育成するとともに、積極的に地域に貢献し信頼される学校づくりを行う。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日	令 和 年 月 日
部	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	数値	次年度の課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	【現状】 学習意欲は高く、生徒会活動や委員会活動、学校行事、部活動など、コロナ対策をしながら学校生活全般に積極的に取り組んでいる。 【課題】 次世代を担うリーダーとしての素養を意識させ高い志を持たせて、コロナ禍の時代にも柔軟に対応できる人材となるよう、学校生活に主体的に取り組む生徒の育成を目指す。	主体性を持ち自ら考え行動できる次世代リーダーの育成	①生徒が主体的に学習活動に取り組めるような工夫や改善 ②生徒会活動や各種委員会活動(出版・保健・美化・図書・文化・体育・生活)、学校行事(文化祭・体育祭など)への自主的な取組の促進 ③部活動における顧問と生徒との目標の共有化を通じた志や心の育成 ④社会をリードし地域貢献できる人材育成に向けた地域連携、ボランティア活動への取組	①授業や朝学習・補習に主体的に取り組んだか(生徒アンケートより検証) ②生徒会や委員会活動、学校行事の計画・運営状況。コロナ対策を施して実施した結果の生徒満足度(行事アンケート等により検証) ③部活動指導計画と生徒の取組状況や活動成果の共有化(顧問アンケート等により検証) ④地域団体や小中学校との連携状況。自主的なボランティア活動の取組状況					
2	【現状】 「世界をリードする科学技術人材育成事業」「教育課程研究事業(大学進学指導拠点校)」に継続して取り組み質の高い授業を実践している。 【課題】 指定事業の活用などにより、次世代社会やコロナ禍などの困難に立ち向かえる、社会に不可欠な思考力・判断力・表現力等を知識・技能とともに身につけられる授業改善をさらにすすめる。	授業改善の推進	①新学習指導要領の観点別評価に対応する授業準備や授業改善への継続的研究(企画委員会・各教科・教務部) ②生徒の主体性や思考力・判断力・表現力の育成に資する授業研究の実践(研究会や年次研修、公開授業週間、「教育課程研究事業」の活用) ③「世界をリードする科学技術人材育成事業」や人文科学探究等を活用した探究活動の充実と内容の深化 ④ICT活用委員会を核として、コロナ禍においても対応可能なICT機器の効果的な活用促進(各学年・各教科・各分掌・教職員間など)	①講師を招聘した教員研修の実施、委員会や教科等での研究状況 ②校内や校外での研究会や他校での研究授業への参加回数、年次研修の実施状況や公開授業週間での教員相互による授業研究の状況 ③生徒の探究成果発表を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実践できているか ④タブレットやプロジェクターなどICT機器の利用や教材等のデータ共有による授業やHR、職員間での活用状況					
3	【現状】 生徒一人一人に対するきめ細かな指導により、難関大学等へ多くの合格者を輩出している。一方で難関校への一般受験者数が減少している。 【課題】 第一志望校を見据え、一般受験での進路実現を目標にさせ更なる進学実績の向上を目指す指導を学校全体で共有し実践する必要がある。	進路指導の充実と進学実績の向上	生徒の第1志望を踏まえつつ、目標校の早期決定を促す ①きめ細かな進路指導(進路指導部・各学年・各教科)により、生徒に寄り添った進路相談や課業日(放課後等)、長期休業などでの多彩な補習の実施 ②文理の偏らない総合的な学力を伸ばさせる指導のなかで、入試対策の内容にもつながる教科指導 ③進路指導に係る最新情報の収集、情報共有(進路指導部)	第1志望の進路実現50%以上 現役合格目標: 国公立 60名 早慶上理 ICU・G-MARCH 計80名 ①進路選択につながる講演会等の実施、模試を活用した指導状況、土曜学習開放の利用者数増加 ②各教科研究会、共通テスト対策の研究会等への参加及び情報共有による指導 ③大学新入試の情報収集と生徒への提供、対応策の検討と実施、学校全体での情報共有状況					
4	【現状】 自らを律して行動している生徒が多く、地域からも高い評価を得ている。 【課題】 全ての生徒の資質を伸ばすため寄り添った支援により、品格ある熊女生として生き生き学校生活等を過ごす姿を、地域住民や中学生にPRし、評価を一層高めて生徒募集に繋げることが必要である。	生徒指導、心のケアの充実	①校内支援委員会を中心に、SC・SSW・関係機関や教職員・保護者との連携により、面倒見のよい学校としての教育相談体制を高める ②組織的な整容指導と挨拶運動(生徒指導部・渉外部・全教職員)、制服の見直し検討による帰属意識の高揚	①定期訪問によるSC、関係機関と連携してのSC・SSWの活用状況と生徒の満足度 ②整容指導、挨拶運動の実施回数と生徒の状況、生徒を巻き込んだ制服検討委員会の実施					
		広報活動の工夫改善	①本校主催の学校説明会や学校見学会、進学フェアでの本校の特色PR、創立110周年記念事業への取組 ②学校ホームページや学校案内を活用した情報発信(全教職員)、生徒自身が生き生きと過ごす姿を地域住民や中学生へ見ってもらう機会を増やす	入試倍率への反映 ①参加者の増加・満足度、周年行事の取組に対する反響 ②学校ホームページの更新数やアクセス数の増大、学校説明会等や部活動での地域発表の実施・大会等での活躍状況					